プレスリリース

**ネバダ大学ラスベガス校ら米より6大学が来日**

# **在日米国大使館商務部・在日米国商工会議所がホスピタリティ人材育成サミットを日本で初開催**

文化観光プロジェクトマネジメント委員会（文化観光リサーチ株式会社内：東京都港区）は、米国アメリカ大使館商務部及び在日米国商工会議所と共に、2019年10月28日（月）大阪及び10月30日（水）東京にて、日本政府（観光庁・文部科学省・経済産業省）の後援により、**米国－日本ホスピタリティマネジメントサミット**を初開催します。 会場は、大阪：関西外国語大学中宮キャンパス、東京：衆議院国際会議室です。本サミットの目標は、日米政府が協力し、国際競争力のあるマネジメント人材の育成プログラムを開発することにより、日本のインバウンドツーリズムを長期的に持続成長させることです。 本サミットの目標を達成するため、米国大使館商務部及び駐大阪・神戸米国総領事館は、世界的に評価の高い観光経営プログラムを提供しているネバダ大学ラスベガス校ら6大学から専門家を招聘し、各大学の取り組み事例を紹介します。

日本のホスピタリティ業界、特にインバウンド業界は、劇的に成長し続けています。 この成長を持続させるためには何千人もの管理職が必要とされ、日本の大学には、日本人学生をホスピタリティ業界のマネジメント人材に育成するためのプログラムが求められています。 そして、学生には、単位を取得できるインターンシップ制度等を通して、高度な英語力とグルーバル思考を身につけることが求められています。 現在、このような人材育成プログラムを日本国内で実施している学校はほとんどありません。 本サミットでは、最先端のresearch-oriented（研究プロセスや課題を重視）分野でトップランクに位置する米国のホスピタリティ・プログラムを紹介し、ホスピタリティ業界の幹部候補になるための人材の育成方法について議論します。

大阪と東京で開催される本サミットでは、米国と日本の大学、ホテルやテーマパークなどホスピタリティ業界のリーダー、観光に携わる官公庁の幹部が登壇します。このサミットの目標は、上述の通り、広義のホスピタリティ分野にわたるインバウンドの成長を持続させるため、必要とされる何千人もの幹部候補生を輩出するために必要なビジネス目線でのホスピタリティ・プログラムを共有することです。広義のホスピタリティ分野には、ホテル、テーマパーク、アミューズメント・エンターテインメントセクター、DMO（Destination Marketing Organizations）、MICE （Meeting-Incentive-Conference-Exhibitions）、スポーツおよびメガイベント、文化遺産施設、博物館などが含まれます。本サミットでは、日本のホスピタリティ・マネジメントの必要性に関し、産業界のリーダーらによる議論に加え、米国と日本の参加大学に対し、パートナーシップ提携に向けた一対一の協議の機会を提供します。

本サミットの詳細と登録については、https://cutor.jp/hospitality-management-summitをご覧ください。

米国－日本ホスピタリティマネジメントサミット【開催要領】

**〇　大阪会場：　関西外国語大中宮キャンパス／定員150名**

2019年10月28日（月）　9:00～17:45

**〇　東京会場：　衆議院国際会議室／定員250名**

2019年10月30日（水）　9:00～17:45

**オープニング**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　９：００～９：２０

主催者挨拶他（在日米国臨時代理大使・　駐大阪・神戸米国総領事他）

**ラウンドテーブルⅠ**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　９：３０～１０：４０

キーノートスピーチ（観光庁長官・文化庁次長）

インバウンドの急激な拡大と日本政府の今後の展望

**ラウンドテーブルⅡ**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１０：５０～１１：５０

主要成長分野であるインバウンドとその更なる飛躍に向けた提言

**ラウンドテーブルⅢ**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１３：３０～１５：２５

パート1：　米国の大学のプログラム事例紹介（米国の教育界より）

パート2：　エキスパートによる意見交換（米国の教育界に対する質疑応答を含む）

**クロージング**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１５：２５～１５：３０

　＊1　上記プログラム終了後、大学の個別面談会議を開催します。（非公開）

　＊2　上記は、報道発表日現在の日程です。

　＊3　参加予定の米国の大学：

セントラルフロリダ大学・ネバダ大学ラスベガス校・コーネル大学・

ミシガン州立大学・ウィスコンシン大学スタウト校・カレッジオブデザート

**取材内容送付用紙**

米国－日本ホスピタリティマネジメントサミット　大阪・東京会議

取材にご参加頂ける場合、以下にご記載の上、メールまたはファックスの送付をお願いします。

メール 　info@cutor.jp

FAX 03-6230-0349

文化観光プロジェクトマネジメント委員会事務局（文化観光リサーチ㈱内）　真下・竹内　宛

|  |  |
| --- | --- |
| 貴社名 |  |
| 部署名 |  |
| 参加社の代表者のお名前 |  |
| 取材人数と機材 | 名機材（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 連絡先 | 携帯Tel Fax |
| 取材を行う場所 | ・大阪会場　（10/28）　（　　　）　　来場時間帯：　　　・東京会場　（10/30）　（　　　）　　来場時間帯：　　　※取材希望箇所に〇をつけてください。全ての取材も可能です。※東京会場は警備の都合上、入館制限を設ける場合があります。 |
| 備考欄（問い合わせ等ございましたら記載ください。） |  |

会場等準備の都合上、**１０月２５日（金）午前中まで**に取材申し込みをくださいますようお願い申し上げます。